

学校概要

創立 145 周年	学校長 金子 一雄	副校長 山谷 浩司	学期 2 学期制	児童・生徒数 465 人
学級数 一般級: 15 個別支援級: 2		主な関係校: 高田中学校 高田東小学校		

学校教育目標

- 【伸びよう 豊かに たくましく～学ぶ喜びにあふれた学校をめざして】
- 進んで学び、問題解決に向け、最後までやり抜く子を育てます。(知)
 - 自分や友達を思いやり、心豊かな子を育てます。(徳)
 - 自他の命を大切に、健康でたくましい体をつくる子を育てます。(体)
 - 様々な人とのコミュニケーションを通して、社会に役立つために行動し、社会への視野を広げる子を育てます。(公・開)

学校の特徴

創立144年の歴史ある学校であり、学区には古くからの神社仏閣、石碑などが多いだけでなく、雅楽も傳承されている。学区は市街化調整区域であり、農地や雑木林が住宅と混在している。地域・自治会やPTAとの連携もよく、学校に対する期待も大きい。「たかたの丘の音楽会」などのほかに「グランドゴルフ大会」「ベタンク大会」などのスポーツの行事も多い。地域の方からの協力も、児童の登下校時の見守り、学習活動への協力など多方面にわたっている。また、保護者も学援隊、花ボラ、読み聞かせなどの活動が盛んであり、学校運営に協力を惜しまない。さらにPTA役員を中心にして、活発なPTA活動を行っている。落ち着いた雰囲気のある学区ということもあり、児童は落ち着いて学習に取り組んでいるが、自己主張が強く、何事も受け身になりがちな面もある。

- 基礎・基本の定着を図り、学ぶことの喜びを実感させるために、教職員の授業力を高め各教科等の学習指導の充実に努めます。
- 全職員の共通理解のもと、配慮を要する児童の豊かな成長のために全職員で対応します。
- 自他の生命を尊重する心をもつ児童の育成を図るため、全教職員の共通理解のもと児童指導の充実に努めます。また、豊かな社会性が育成されるよう家庭・地域と協働します。

小中一貫教育の取組

高田中	ブロック	高田中学校 高田東小学校 高田小学校
9年間で育てる子ども像	○ 自らすすんで学び続ける子 ○ 仲間と協力してよりよい社会の実現を目指す子	
自校の具体的取組	○9年間で育てる子ども像を具体化するための手立てについて、併設校3校で協働して研究を進め、小中一貫カリキュラムを作成する。 ・子ども像を具体化するために身につけるべき資質、能力について分析する。 ・学習規律や生活指導について、どのように共有を図るのか検討する。	

重点取組分野	取組目標	具体的取組
確かな学力	校内の授業研究研修の充実を図ることにより、教員の授業力を高め、児童の興味関心意欲を重んじ、思考力、判断力、表現力を高める授業の実践を目指す	①外部講師を招いて、教科研究授業研修会(体育)を実施し、授業力の向上を図る。 ②算数によるTTの実施や教員の専門性を活かした授業の実施。 ③学習状況調査の分析を通じて、学習課題の把握に努めるとともに授業改善に活かす。 ④ICT器具の活用を進め、生徒の興味関心を高め、学力の向上を目指す。
豊かな心	福祉活動、人権教育活動、体験学習等を取り入れ、豊かな心や人間性、思いやりやふれあいを大切にしようとする心情を育てていきます。	①日常の活動での指導や道徳の授業の充実を図ることを通じて、道徳心の向上を図る。 ②学級での行動の把握や相談活動、「いじめアンケート」等を実施することにより、児童の人間関係の把握といじめの防止を図る。 ③「あいさつ運動」を通じて、児童一人ひとりの他とのコミュニケーション力の育成を図る。
健やかな体	心と体を一体としてとらえ、運動に親しむ資質や能力を育てる。また、児童自身が目標を定め、体力の向上を図るように指導する。	①体育の授業や運動会などの行事を通じて、児童一人ひとりの体力の向上に努める。 ②新体力テストの結果をもとに、体力づくりに関する指導を行う。 ③全校児童による持久走会・長縄大会を実施し、体力の向上に努めます。また、竹馬、一輪車などを休み時間に自由に使えるようにし、遊びの中で体力づくりに取り組む。
児童指導	豊かな人間関係を築き、社会の一員としての意識や規範意識が向上できるように指導する。いじめの早期発見と適切な対応が組織的にいえるような体制づくりを目指す。	①学級、学年、学校全体で児童に関する情報交換を密に、児童の変化を共有する。 ②学校行事や児童会活動、学級活動を通じて、児童の自主的な活動を促し、キャリア教育の視点にたつて、児童一人ひとりの「自己有用感」の育成が図られるよう努める。 ③「いじめ防止アンケート」を実施し、実態調査に努め、早期発見早期対応を実践していく。
保健安全教育	児童の安全な学校生活の維持を目指し、防犯、防災などの危機管理体制づくりと、生涯にわたって健康に気をつける、自己健康管理能力の向上を目指す。	①児童を対象とする、健康、心のケアに関する学習の促進を図る。 ②危機管理(防犯・防災)に基づく災害発生時や学校事故等の緊急事態発生時に適切で迅速な対応ができるための体制づくりを行う。
特別支援教育	個々の特性に応じた指導ができるよう情報交換を定期的に行うとともに、関係機関との連携を密に行ない、丁寧な支援を目指す。	①個々の特性に応じて特別支援教育指導計画を作成し、組織的に対応できるよう努める。 ②特別支援教育についての理解を深めるよう研修会の実施。 ③特別支援教育の理解と具体的な対応が図れる指導力を培うため、研修の充実を図る。 ④ユニバーサルデザインへ対応していく。
地域連携	学校家庭地域事業の取組や学校懇話会、PTA活動を通じて、地域住民や保護者に開かれた学校運営と地域住民の参画意識や協力意識の高揚を図る。	①学校だよりや学校ホームページの活用や学校説明会、学校懇話会の活動を通じて、学校の現状を地域保護者に紹介する。 ②学校家庭地域連携事業や地域活動に積極的に参加させ、地域との関係を深める。 ③地域行事への児童のボランティア参加を促進する。
いじめへの対応	いじめ防止委員会が中心となり、いじめ防止に向けた活動を行うとともに、いじめの早期発見といじめ発生時に適切な対応ができるような組織の構築を図る。	①学級、学年、学校全体で児童に関する情報交換を密に、児童の変化を共有しいじめの早期発見に努める。 ②学校行事や児童会活動、学級活動を通じて、いじめ防止の取組を行う。 ③「いじめ防止アンケート」を実施し、実態調査に努め、早期発見早期対応を実践していく。
人材育成・組織運営	いじめ防止委員会が中心となり、いじめ防止に向けた活動を行うとともに、いじめの早期発見といじめ発生時に適切な対応ができるような組織の構築を図る。	①学級、学年、学校全体で児童に関する情報交換を密に、児童の変化を共有しいじめの早期発見に努める。 ②学校行事や児童会活動、学級活動を通じて、いじめ防止の取組を行う。 ③「いじめ防止アンケート」を実施し、実態調査に努め、早期発見早期対応を実践していく。